

ENVIRONMENTAL MANAGEMENT REPORT

環境経営レポート

レポート対象期間：2023年度6月～8月

有限会社 満山資源
Miyama Resource



奥沢地区 安定型最終処分場

限られた資源の消費抑制や地球環境の保全のために、
国は様々なリサイクル法を制定するなど3R
(リデュース (Reduce- 発生抑制) リユース (Reuse- 再使用) リサイクル (Recycle- 再生利用)) の
推進に取り組んでいます。

世の中の流れは廃棄物を単に処理するだけでなく、
資源として有効に活用する方向に大きく変化しています。

当社と致しましても、
このような法律の動向や循環型社会の構造変化に対して常にアンテナを張り、
また安定型産業廃棄物処理を専門とした35年の実績と信頼を糧とし、
「法令遵守」と「地域社会の共生」を念頭に持続企業として使命を果たしてまいります。

有限会社 満山資源
代表取締役 山上利行

目次

1. 組織の概要	P-1 ~ 2
2. 施設の概要	P-3 ~ 5
3. 環境経営方針	P-6
4. 環境経営目標と環境経営計画	P-7
5. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P-8
6. エコアクション21取組みの実施体制	P-9
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価	P-10
8. 次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-11
9. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟などの有無	P-12
10. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-13

1 組織の概要

1. 事業所及び代表者名

有限会社 満山資源
代表取締役 山上 利行

2. 法人設立

1987年 7月 13日

3. 所在地

本社：〒376-0121 群馬県桐生市新里町新川 1427-4
処分場：〒376-0131 群馬県桐生市新里町奥沢 590-1

4. 資本金

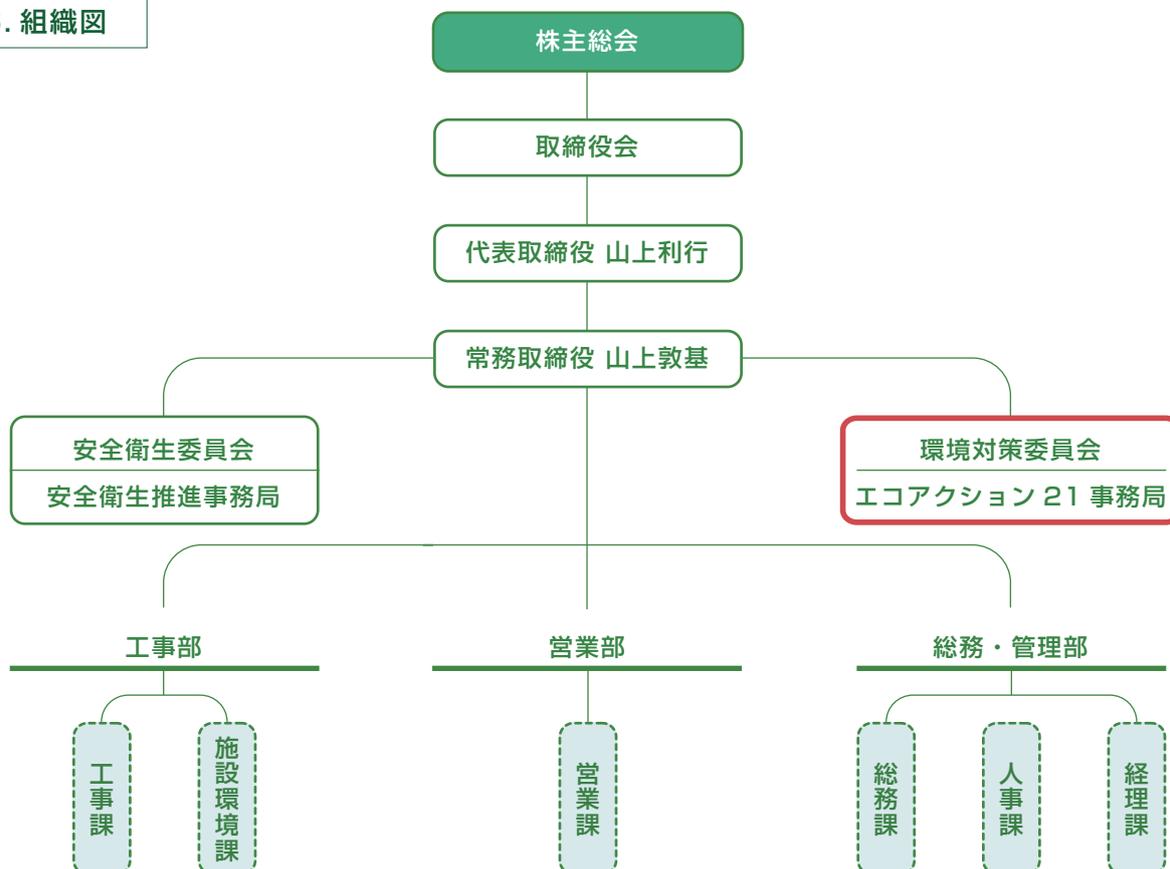
1000万円

5. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者	常務取締役 山上 敦基
環境管理責任者	次長 福山 恵子
E A 2 1 事務局	石山 みつえ

TEL: 0277-74-2721 FAX: 0277-74-2722

6. 組織図



7. 事業の概要

産業廃棄物最終処分業

① 許可内容

- i) 許可番号 群馬県知事 第01030223597号
- ii) 許可年月日 令和3年11月15日
- iii) 許可期限 令和8年11月14日

② 事業の範囲

- i) 事業区分 産業廃棄物最終処分（安定型）
- ii) 取扱品目 安定型5品目
 - ① 廃プラスチック類
 - ② ゴムくず
 - ③ 金属くず
 - ④ ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず
 - ⑤ がれき類
 （以上5種類）

※①④⑤については石綿含有産業廃棄物を含む

③ 処理施設の概要

- i) 処理施設の種類 安定型最終処分場
- ii) 設置許可 令和元年 11月 5日 群馬県第415-0号
- iii) 最終処分場の面積 36,489.09㎡
- iv) 埋立面積 27,714.6㎡
- v) 埋立容量 433,842.9㎡
- vi) 埋立残余量 417,867.9㎡（令和5年8月末日）
- vii) 埋立方式 安定型埋立（準好気性埋立）
- viii) 埋立工法 ナチュラル・ブランケット工法（NB工法）群馬県構造基準 準拠

8. 事業規模

活動規模（単位）	2022年度	2023年度（6月～8月）
廃棄物受入量（㎡）	16,055.5	6,823
売上高（百万円）	249	100
従業員数（人）	13	13
施設延べ床面積（㎡）	36,489.09	36,489.09

2 施設の概要

1. 満山資源の「3つ」の取り組み

【環境管理】《水質保全》を重要課題とした取り組み

地域の皆様に安心していただくため、安心して搬入いただくため、当社は【水質保全】を重要課題とし、NB工法採用による[高い圧密性能][抜群な遮水性]を実現しました。

法令遵守への取り組みとして『地下水・浸透水・放流先河川』での水質検査はもちろんのこと自社独自でも基準値を設定し[ph・ORP(酸化還元電位)・電気伝導率]等の短期スパンでの採水検査をしております。

最終処分場の運営を行うにあたっては、水源・河川等の役割を阻害しないよう適正に管理することが重要であり、設置者に内在する当然の責務であると考えます。

【搬入管理】許可品目外の混入防止として展開検査場の設置

展開検査場では安定型処分場への搬入として認可された安定5品目以外の混入物に対する確認作業を全車両に行い、その検査記録は適正に管理し、また地域の方々の要求に応じていつでも閲覧可能な状態を保持します。

【廃棄物の受入管理】を重視することから、弊社では展開検査場を完全分離型にて設置しました。埋立地と展開検査場を分離することによる搬入物の選別の効率化、及び極めて細かな不適物の混入防止等にも対応出来ることから更なる安全性を確立する事が可能となります。

展開検査場（受入場所）



展開検査場（下から）



利便性向上のためのIT化

ホームページの開設により、お客様の必要とする情報を必要な時にご覧いただけます。法令遵守への取り組みとして『維持管理状況の情報の公表』はもちろん、会社カレンダーの更新情報（予約システム用）、最終処分場受入日時等のご案内等もこちらからアクセスしていただけます。

ネットでの受入予約システムの導入により営業時間に捉われずご予約いただけるようになりました。

原則電子マニフェストの使用を推進されている産業廃棄物多量排出事業者様にも対応するためJWNET・e-reverseに加入し、電子マニフェストシステムを導入しております。



er-contract に加入し、電子契約システムを導入しました。

排出事業者様の責任が厳格化するなかで、コンプライアンスの観点で信頼のできる産業廃棄物処理業者が求められています。当社と致しましても、産業廃棄物に関する課題を抱えている建設業・製造業の事業者様に対して、廃棄物取扱業者のプロとして「課題解決型提案」をしていけるよう日々精進してまいります。

2. ベントナイト砕石 100%による NB 工法の採用

【ベントナイト】とは

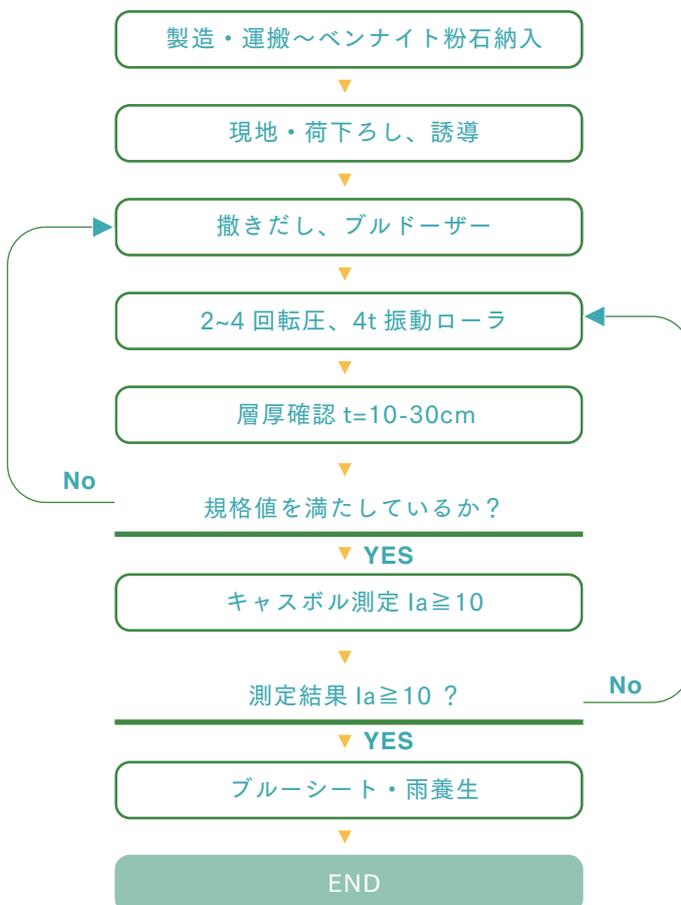
ベントナイトとは、モンモリロナイトを主成分とする粘土の総称で、層状のフィロケイ酸アルミニウムを多く含むため、吸水性とイオン交換性が高く、乾燥重量の数倍に及ぶ吸水により膨潤し、固形状態では不透水性です。また水懸濁液は安定なコロイドを形成し、高い粘性を示します。

紀元前 3,000 年に建てられた Ziggurat (ジグurat)、同 2,600 年前後に建てられたピラミッド等、古代に見る 5,000 年の時を経た粘度系素材の耐久性は言うまでもありません。

【NB 工法 (ナチュラル・ブランケット工法)】とは

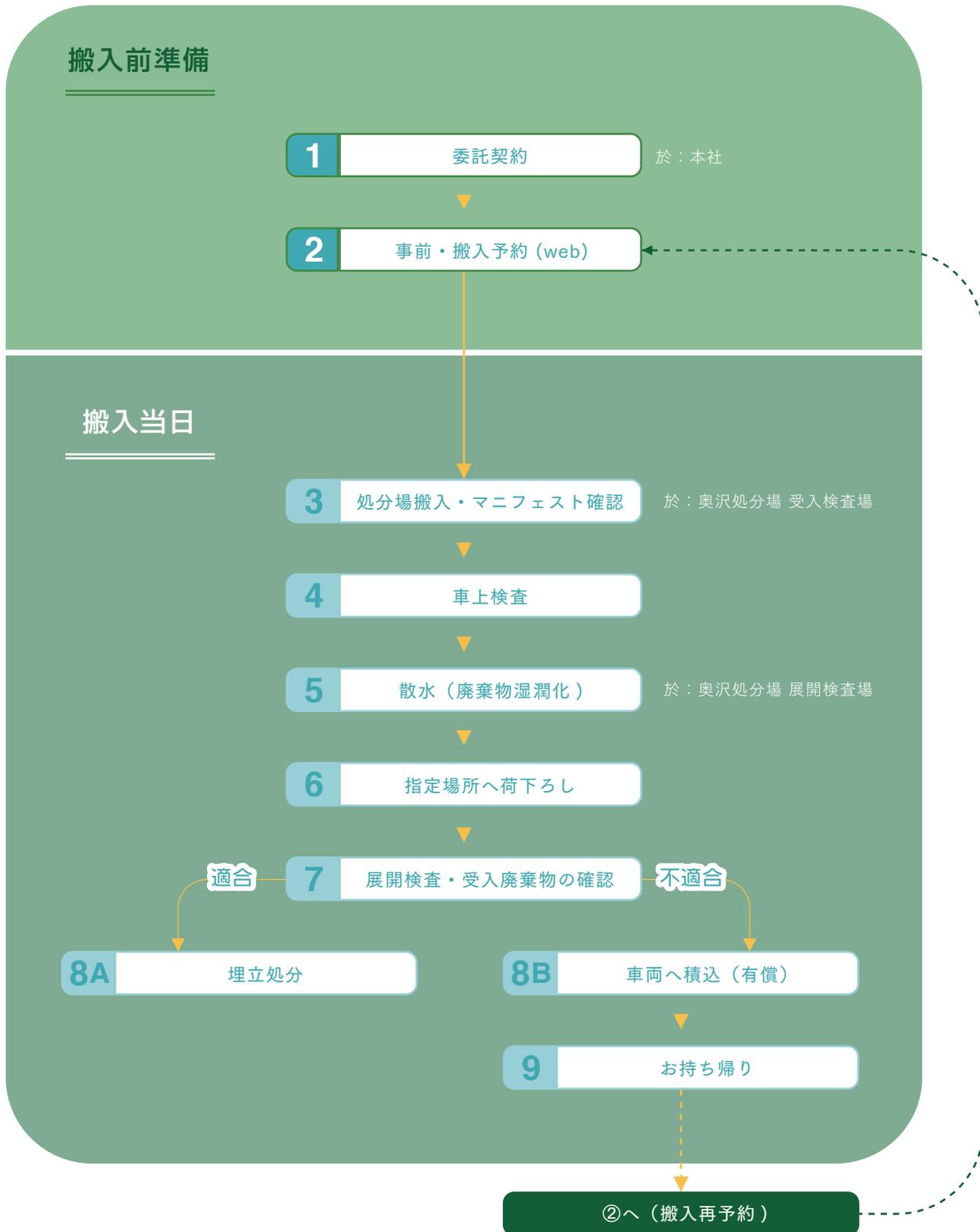
ベントナイト鉱山から採掘された 100% の原石を粗砕し、粒径 26.5mm 以下かつ適正な含水比にすることで、高い圧密性能とともに良好な施工性、抜群な遮水性を確保。高い遮水性能と均質な品質により最終処分場、放射能汚染隔離層などに適用できる信頼性の高い工法です。

NB 工法フローチャート



このたびオープン致しました安定型処分場では、この NB 工法を採用し、地域の皆様により安心していただける最終処分場として、「法令順守」と「地域社会の共生」を常に念頭に置いた企業活動を推進してまいります。

3. 埋立処理工程図



3 環境経営方針

企業理念

有限会社 満山資源 は廃棄物処理法をはじめとした関係法規の動向や、環境・循環型社会の構造変化に対し常にアンテナを張り、また産業廃棄物最終処分業を専門とした35年の実績と信頼を糧とし、「法令遵守」と「地域社会の共生」を念頭に持続企業として使命を果たしてまいります。

環境基本方針

環境マネジメントシステムを構築し、「本指針」及び「環境目標」を設定し環境負荷低減活動を実施したのち継続的な改善を図ります。

- 1 | 最終処分業に関連する法律、規則、条例、環境目標その他要求項目を遵守します。
- 2 | 自社で発生させる廃棄物の適正処理・排出量の抑制（Reduce）及び再利用（Reuse）、再生利用（Recycle）を図り、自社で消費するエネルギーの有効利用、活用に努めます。
- 3 | **廃棄物搬入管理の徹底について**
受入れ可否の判断は搬入物に対して、その種類、形状、性状、量などが関係法規及び自社受入れ基準に適合しているかを厳正に点検・検査することにより、計画的な埋立てへの障害物や、最終処分場維持管理の支障、周辺環境への汚染を引き起こすおそれがある廃棄物の搬入阻止を図ります。
- 4 | **環境モニタリングの徹底について**
最終処分場に由来する地下水、浸透水、放流水、及び騒音・振動・悪臭等のモニタリングを徹底することにより河川等の水質汚濁、大気汚染等を未然に防止し、周辺環境の保全に努めます。
- 5 | **産業廃棄物最終処分場の維持管理について**
施設内の構造物、設備や周辺道路を適正に維持管理することにより環境汚染の防止と事故防止に努めます。

※ 環境方針は文書化し全従業員へ周知するとともに、社外関係者含め一般公開します。

2023年6月5日
有限会社 満山資源
常務取締役

山上 敦基

4 環境経営目標と環境経営計画

環境経営目標 (環境経営レポート対象期間)				環境経営計画 (環境経営レポート対象期間)
	項目	基準年 実績	2023 年度 目標	実施事項
1	受入量当り 二酸化炭素排出量の 削減	2022 年度 (6.7 kg -CO ₂ /t)	2022 年度に 対して 1% 減	①空調温度適正化・表示
				②照明・PC電源不要時のOFFの推進
				③エアコン清掃の実施
				④エコドライブ推進
				⑤社用車の点検・整備
				⑥電力、ガソリン量の集計
				⑦室外機遮熱の設置
				⑧ブラインドの適正使用
2	廃棄物排出量の 削減	—	廃棄物排出量の集計	①分別ルールの徹底
				②廃棄物置場の整備
				③廃棄物排出量の集計
				④裏紙使用ルールの徹底
				⑤ファイルの再利用
				⑥ラベルレス商品の購入
				⑦袋・封筒・段ボールの再利用
				⑧ペーパータオル廃止
3	受入量 100 t 当りの 水使用量の削減	2022 年度 (0.7 m ³ /100 t)	2022 年度に 対して 1% 減	①毎月のメータを確認する (漏水防止)
				②節水表示
				③増量ノズルへの交換
				④トイレの節水と大・小使い分け
				⑤高圧洗浄機使用
4	本業に関する目標	—	—	①水質検査の実施 基準値の遵守
				②展開検査の 100%実施
				③道路清掃活動と保守点検
				④処分場重機アイドリングストップの徹底
				⑤緑化

* 購入電力の調整後排出係数は、0.474kg-CO₂/kWh【東京電力エナジーパートナー (株)】を使用しています。

* 化学物質の使用はありません。

5 環境経営計画に基づき 実施した取組内容

空調温度適正化・表示



節水表示



紙類の分別（リサイクル促進）と再利用



節電表示

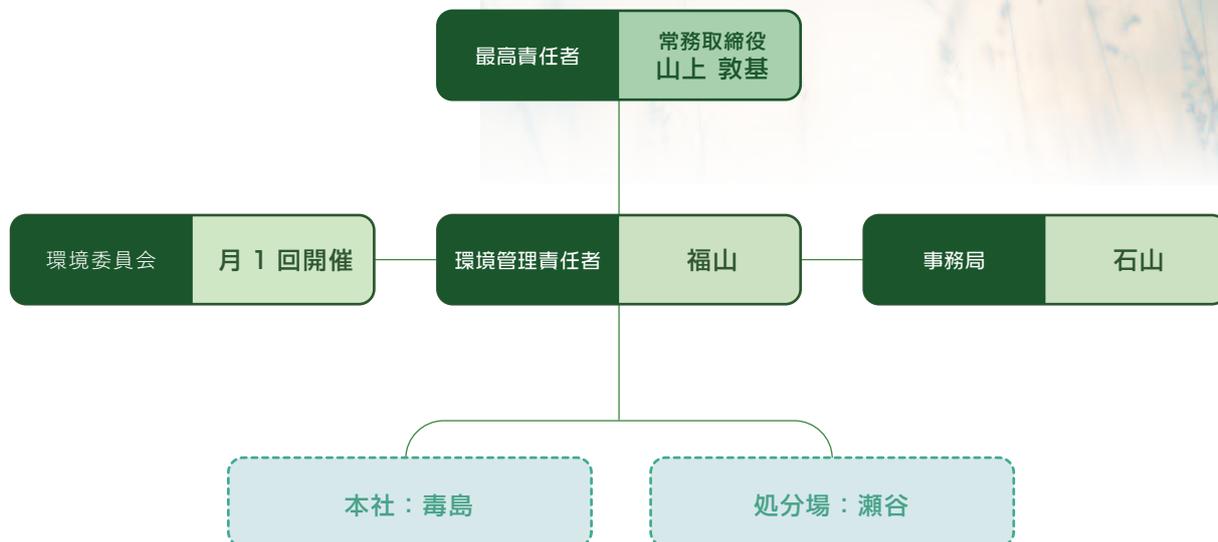


省エネ対策



6 エコアクション21 取組の実施体制

EA21 マネジメントシステム運用の組織図



職名	役割
最高責任者 常務取締役 山上 敦基	① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。 該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。
	② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源 (人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。
	③ 環境経営方針を制定する。
	④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境経営・方針・目標・計画等、システム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。
	② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境経営目標の設定、環境経営計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

7 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標 (環境経営レポート対象期間)						環境経営計画 (環境経営レポート対象期間)		
	項目	基準年 (実績)	2023年度 目標	2023年度 目標値	2023年度 実績	目標の 達成状況	実施事項	評価
1	受入量当り 二酸化炭素 排出量の 削減	2022年度 (6.7 kg - CO ₂ /t)	2022年度 に対して 1%減	6.63	6.01	達成	①空調温度適正化・表示	◎
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	◎
							③エアコン清掃の実施	◎
							④エコドライブ推進	◎
							⑤社用車の点検・整備	◎
							⑥電力、ガソリン量の集計	◎
							⑦室外機遮熱の設置	◎
							⑧ブラインドの適正使用	◎
2	廃棄物 排出量の 削減	-	廃棄物 排出量 の集計	-	0.05	達成	①分別ルールの徹底	◎
							②廃棄物置場の整備	◎
							③廃棄物排出量の集計	◎
							④裏紙使用ルールの徹底	◎
							⑤ファイルの再利用	◎
							⑥ラベルレス商品の購入	◎
							⑦袋・封筒・段ボールの再利用	◎
							⑧ペーパータオル廃止	◎
3	受入量 100t当りの 水使用量の 削減	2022年度 (0.7 m ³ / 100t)	2022年度 に対して 1%減	0.69	1.77	未達成	①毎月のメータを確認する(漏水防止)	◎
							②節水表示	◎
							③増量ノズルへの交換	◎
							④トイレの節水と大・小使い分け	◎
							⑤高圧洗浄機使用	◎
4	本業に 関する目標	-	-	-	-	達成	①水質検査の実施 基準値の遵守	◎
							②展開検査の100%実施	◎
							③道路清掃活動と保守点検	◎
							④処分場重機アイドリングストップの徹底	◎
							⑤緑化	◎

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

主な環境負荷実績

環境負荷	2022年度 (基準年)	2023年度 (環境活動レポート対象期間)
①二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)	86,310.05	27,210.53
②廃棄物排出量 (kg)	-	210.00
③水資源投入量 (m ³)	90.00	80.00

8 次年度の環境経営目標 及び環境経営計画

環境経営目標 (環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標)						環境経営計画 (環境経営レポート対象期間の次年度)
	項目	基準年 (実績)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	実施事項
1	受入量当り 二酸化炭素 排出量の 削減	2022年度 (6.7 kg - CO ₂ /t)	2022年度に 対して 2%減	2022年度に 対して 3%減	2022年度に 対して 4%減	①空調温度適正化・表示
						②照明・PC電源不要時のOFFの推進
						③エアコン清掃の実施
						④エコドライブ推進
						⑤社用車の点検・整備
						⑥電力、ガソリン量の集計
						⑦室外機遮熱の設置
						⑧ブラインドの適正使用
2	廃棄物 排出量の 削減	廃棄物 排出量の 集計	2023年度に 対して 1%減	2023年度に 対して 2%減	2023年度に 対して 3%減	①分別ルールの徹底
						②廃棄物置場の整備
						③廃棄物排出量の集計
						④裏紙使用ルールの徹底
						⑤ファイルの再利用
						⑥ラベルレス商品の購入
						⑦袋・封筒・段ボールの再利用
						⑧ペーパータオル廃止
3	受入量 100t当りの 水使用量の 削減	2022年度 (0.7 m ³ / 100 t)	2022年度に 対して 2%減	2022年度に 対して 3%減	2022年度に 対して 4%減	①毎月のメータを確認する(漏水防止)
						②節水表示
						③増量ノズルへの交換
						④トイレの節水と大・小使い分け
						⑤高圧洗浄機使用
4	本業に 関する目標	—	—	—	—	①水質検査の実施 基準値の遵守
						②展開検査の100%実施
						③道路清掃活動と保守点検
						④処分場重機アイドリングストップの徹底
						⑤緑化

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

エコアクション21運用を始めて間もないため、当初の中長期目標で次年度も進める。
同じく、環境経営計画も前年度と同じ計画で進める。

9 環境関連法規などの遵守状況の確認 及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規・条例	遵守事項	記録又は報告する タイミング	遵守状況評価 改正状況
廃棄物処理法・群馬県維持管理に関する基準	廃棄物の種類・数量	搬入ごと	9/7 遵守
	埋立残余量	毎月末	9/7 遵守
	地下水・浸透水	測定箇所に応じて 各月ごと／半年ごと／各年ごと	9/7 遵守
	保守点検の結果（擁壁・囲い等の施設全体の安全・破損等確認）	稼働日ごと	9/7 遵守
	施設内・搬入路の維持管理 清掃、清潔の保持に努める	稼働日ごと	9/7 遵守
	施設内ヘルメット、防護服・マスクの着用	稼働日ごと ※労働安全衛生法	9/7 遵守
	設備の機能検査の結果	年 1 回	9/7 遵守
	敷地境界線上の粉塵／水質／騒音／振動／臭気の測定に関する事項 ※水質については維持管理基準第十四条及び第十五条の定めによる	年 1 回 ※大気汚染防止法、 騒音規制法振動規制法悪臭防止法	9/7 遵守
	搬入車両の搬入時間・車両の登録番号・搬入者の名称及び運転手の氏名	搬入ごと	9/7 遵守
	熱尺減量の測定結果（展開検査による結果（付着又は混入除去等））	搬入ごと	9/7 遵守
	立入検査又は指導の内容及び改善計画又は改善結果	行政処分又は行政指導があった時	該当なし
	定期検査の申請	初回の施設完成検査より 5年3月以内	該当なし
	事故もしくは破損等又は異常の状況及び補修等の結果	施設（擁壁等）の事故もしくは 破損等、又は保守点検もしくは 検査結果等の異常があった時	9/7 遵守
帳簿の作成、備付	毎月記載、1年ごとに 閉鎖、5年保管（事業場）	9/7 遵守	
清掃に関する法律 廃棄物処理及び 廃棄物の処理に関する法律	委託契約書の締結	原本及び写しを5年間保存	9/7 遵守
	マニフェスト伝票の管理	原本を5年間保存	9/7 遵守
	特定産業廃棄物最終処分場状況等報告	年 1 回	9/7 遵守
	産業廃棄物処理実績報告	年 1 回	9/7 遵守
地方税法 （軽油免税関係）	免税軽油の取引に関わる報告	毎月	9/7 遵守
フロン排出抑制法	本社・処理施設内のエアコン簡易点検	3ヶ月に1回	9/7 遵守
自動車リサイクル法	自社使用車両 リサイクル料金 購入時精算	購入ごと	9/7 遵守
家電リサイクル法	自社使用家電 リサイクル料金 廃棄時精算	排出ごと	9/7 遵守
資源有効利用促進法	再生資源および再生部品の利用の促進・分別回収に努める	排出ごと	9/7 遵守
浄化槽法	浄化槽の適切な維持管理及び法定点検の受検	年 1 回	9/7 遵守
グリーン購入法	環境負荷低減に資する物品の調達を推進	購入ごと	9/7 遵守
地域貢献 周辺環境美化活動	施設周辺道路の清掃・樹木の間伐及び道路除雪	各シーズンごと	9/7 遵守

2. 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

当社に該当する環境関連法規の遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありません。
また、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

10 代表者による全体的見直し

開催日時 2023年9月21日

出席者 山上（最高責任者）、山上、福山（環境管理責任者）
瀬谷、毒島、石山（事務局）

開催場所 本社

環境管理責任者からの報告内容

1. 環境関連法規等の遵守状況

法規制一覧表・測定結果をもとに遵守状況を確認し、遵守している。

2. 外部からの苦情等の受付状況

6月～8月の期間内で苦情などは発生していない。

3. 環境経営目標の達成状況

6月～8月の3ヶ月間の実績を集計した結果、二酸化炭素については、年度目標を達成できそうであるが、水の使用量については、若干厳しいように思われる。活動を開始して間もないこともあり引き続きこのままの活動（実施項目）を継続していく。

4. 環境経営計画の実施状況及び評価結果

実施項目についてはすべて計画通り実施している。

5. 問題点の是正処置及び予防処置の結果

6月～8月の期間内で是正処置及び予防処置はない。

6. 改善提案

6月～8月の期間内で改善提案はない。

7. 前回の見直しによるフォロー状況・結果

今回が初回のため、前回のフォローはない。

8. その他（取引先からの要望、競合他社の状況など）

特になし

主な議論

① 水の使用量についての目標達成が厳しい状況について話し合った。

前年は処分場にて上水道の使用は業務において使用していなかったが、今期から乾季は必要に応じて、上水道の使用を開始した為増量は避けられない。業務以外の節水は引続き継続していく。

② 環境関連法規について

引続き環境関連法規を意識して、遵守していく。

経営者のコメント

1. 環境管理責任者からの報告に対する評価コメント

水の使用量について、今季から上水道を使用した設備があった為、環境目標の達成状況が厳しいようであるが、引続き環境経営の指針・目標・活動を周知して全社員で共有化を図り取組んで欲しい。

活動を開始して間もないので、マネジメントシステムを理解し定着するように取組むこと。

2. 環境経営方針・目標・計画・実施体制・環境経営システムについて変更の必要性

現時点での変更の必要性はない。

・作成者：石山 ・確認：福山